

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年 4月 28日 更新

事務事業名	ハンセン病問題啓発事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	荒牧 聡
	施策	12 人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名	高野 和子
	施策の柱	43 人権尊重についての理解と相談体制の充実	所属班	啓発教育班	(内線)	5 3 3 4
予算科目	会計一般	款 3 項 1 目 8 事業連番 10860 根拠法令	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 9 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成27年度までは、ハンセン病を正しく理解する週間に合わせて、講演会等の催しを実施してきた。講演会や菊池恵楓園から借用したパネル展示などを実施している。 平成8年の「らい予防法」の廃止を受け、平成9年、町民のハンセン病問題に対する正しい知識の普及・啓発と、また、療養所入所者と市民との相互交流をより進めていくために開始した。取り組みを始めた頃比べると、市民のハンセン病問題に対する理解は深まってはいるが、人権意識市民アンケート調査ではハンセン病問題の詳細を知らない人もまだまだ多いことから、市民に対する理解と啓発を進めていく必要がある。 平成29年度より、社会福祉法人ふれあい福祉協会のハンセン病対策促進事業を活用して取組を実施しており、平成31(令和元)年度は2月1日に「人権フォーラム2020 in 合志市」を開催し啓発を行った。令和2年度もこの事業を活用することとしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント開催ができなくなったため、DVD「あつい壁に 虹のかけ橋を」を150部制作し啓発を行った。
【業務の流れ】	①新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮しながら事業内容を決定し、ふれあい福祉協会との協議を行う。②DVD制作委託先の株式会社テレビ熊本との企画内容協議。③DVD出演者への出演交渉。④撮影場所の選定、台本の確定。⑤撮影。⑥DVD納品後、関係各社へ寄贈・送付し利活用を依頼。⑦職員研修の一環として活用。 ※平成29年度より、社会福祉協会ふれあい福祉協会へのハンセン病対策促進事業の事務手続きを行っている。
【主な予算費目】	需用費、役務費
【意見や要望】	啓発DVDは、前年度に菊池恵楓園訪問や「人権フォーラム2020 in 合志市」への出演をされた俳優竹下景子氏と本市出身の映画監督中山節夫氏の対談を軸としており、市民の関心が高く、地元地方紙(熊本日日新聞)にも取り上げられた。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年のイベント「人権フォーラム 2021 in 合志市」が開催できず、ハンセン病問題啓発DVDの制作を行った。	ふれあい福祉協会のハンセン病対策促進事業で実施している。次年度もこの事業を活用する予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 講演会等の開催回数	回
イ: 参加者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	ア: 人口
市内事業所社員等	イ: 市内従業者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
ハンセン病問題を正しく理解してもらう。	ア: 正しく理解した参加者の割合
	イ: %
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠	
参加者にハンセン病問題を正しく理解してもらうことが意図のため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア 回		1	1	1	0	1	1	1	1
	イ 人		450	550	600	0	600	600	600	600
② 対象指標	ア 人		62,343	62,707	62,925	63,189	63,600	64,614	65,500	66,391
	イ 人		18,187	18,187	18,000	18,187	18,000	18,000	18,000	18,000
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円					200		
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	48	27	266	28	67	266	266	266
	(A) 事業費計	千円	48	27	266	28	267	266	266	266
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	4	6	4	6	6	6	6
延べ業務時間	時間	200	500	300	500	300	300	300	300	
(B) 人件費計	千円	788	1,981	1,195	1,971	1,195	1,195	1,195	1,195	
トータルコスト(A)+(B)	千円	836	2,008	1,461	1,999	1,462	1,461	1,461	1,461	

事務事業名	ハンセン病問題啓発事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	-------------	-----	-------------	-----	---------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 市民の関心や反応が良く、理解の促進が図られていることがうかがえる。
	② 3年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新型コロナウイルス感染症等の状況を見ながら事業内容を検討する予定である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 DVD視聴者の理解促進は図ることができている。さらなる利活用を目指す。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 啓発事業を推進するうえでは、最小限の事業費であり、これ以上の削減はできない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業にも、職員は、少人数で対応しており、内容、講師の設定、他のイベントとの日程の調整に時間を要している。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民全般に事業への参加を呼びかけており、また、すべての市民がハンセン病問題を正しく理解することが必要であるため、本事業を開催することは、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 人権問題啓発は行政の責務であり、役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

コロナ禍でイベント開催が出来ない中、制作したDVDは好評を得た。今後も内容と周知方法に工夫をして、より多くの市民にハンセン病問題を正しく理解できる機会の提供に努める。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						